



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 カネヨウ株式会社

コード番号 3209 URL <http://www.kaneyo-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川島 正博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役職能担当

(氏名) 中村 陽介

TEL 06-6243-6500

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,561	△5.1	△13	—	△25	—	△25	—
27年3月期第2四半期	4,804	△4.2	26	△22.7	5	△46.0	5	△46.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△1.85	—
27年3月期第2四半期	0.36	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	5,463	1,026	18.8	73.17
27年3月期	5,073	1,074	21.2	76.54

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 1,026百万円 27年3月期 1,074百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	△2.8	55	△0.1	30	160.5	24	△41.8	1.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	14,066,208 株	27年3月期	14,066,208 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	34,394 株	27年3月期	34,121 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	14,031,931 株	27年3月期2Q	14,033,354 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因によって異なる可能性があります。なお業績予想に関する事項は添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は円安による原材料・製品輸入価格の高値止まりを受け、国内生産品のコストアップが継続され好況感はなく、設備投資や賃金のUPも掛け声倒れになりました。日経平均株価は一時2万円台に乗せましたが、9月には1万6千円台にまで下落しました。

このような環境下、当社におきましては、収益の拡大を目標に売上高、売上総利益率の向上を目指して努力してまいりましたが、売上高、売上総利益率共に前年を上回ることができませんでした。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は売上高45億61百万円(前年同期比5.1%減)、営業利益は△13百万円(前年同期は26百万円の営業利益)、経常利益は△25百万円(前年同期は5百万円の経常利益)、四半期純利益△25百万円(前年同期は5百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①寝装用原料

当第2四半期累計期間の寝装用原料の売上高は15億62百万円(前年同期比20.7%減)、営業利益は47百万円(同16.4%減)となりました。

合繊原料は産業資材分野への高機能原料販売が好調で、売上、利益とも伸長することができました。羽毛原料はヨーロッパ産中心にオリジナル原料の拡販に努めましたが、市況の低迷により若干の苦戦を強いられました。

また、羊毛原料も価格高騰の影響を受け、販売が低迷し売上を伸ばすことが出来ませんでした。

②寝装製品

当第2四半期累計期間の寝装製品の売上高は8億41百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益は29百万円(同10.8%増)となりました。

ムートン関連の商品に一部活発な動きがあったものの、全般的には昨年から続く市況の低迷と、羽毛ふとんの在庫の消化が進まず秋冬の立ち上がりに影響を及ぼした結果、売上を伸ばすことができませんでした。

また円安の影響で利益確保にも厳しい状況が続きましたが、販管費の削減により営業利益は確保できました。

③リビング・インテリア用品

当第2四半期累計期間のリビング・インテリア用品の売上高は7億4百万円(前年同期比10.7%減)、営業利益は3百万円(同88.4%減)となりました。

紙面通信販売向けには掲載点数は増えましたが、ネット通信販売へ顧客が移行したことにより売上を伸ばすことができませんでした。また、インテリア問屋、小売は昨年の在庫が消化できず、新規取引を獲得することが困難だったため、売上を伸ばすことができませんでした。

利益面では円安の影響を受け苦戦いたしました。

④生地反物等繊維製品

当第2四半期累計期間の生地反物等繊維製品の売上高は7億70百万円(前年同期比28.8%増)、営業利益は27百万円(同27.0%増)となりました。

ニット素材は、天然繊維や機能素材の拡販に努めましたが、需要が低迷し苦戦を強いられました。

今期より取引が始まった大手アパレルへの製品販売は好調に推移し、寝装用原料との異業種コラボレーションも組み立てる事ができました。

⑤生活関連用品

当第2四半期累計期間の生活関連用品の売上高は6億77百万円(前年同期比18.3%増)、営業利益は17百万円(同20.5%増)となりました。

農業資材の防草シート、防虫ネット、輸送用の梱包、保冷資材は堅調に推移し、売上が増加いたしました。

健康食品、生活雑貨は需要の低迷で売り上げを伸ばすことができませんでした。

⑥その他

当第2四半期累計期間のその他の売上高は5百万円(前年同期比32.2%減)、営業利益は0百万円(前年同期は0百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末の50億73百万円に比し、3億90百万円増加し、54億63百万円となりました。増加の主因は、季節的な要因によりる売上債権の増加4億19百万円、および、秋冬シーズン販売用商品備蓄により在庫が81百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末の39億98百万円に比し、4億37百万円増加し、44億36百万円となりました。増加の主因は、売上債権同様季節的な要因による仕入債務の増加4億65百万円です。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末の10億74百万円に比し、47百万円減少し、10億26百万円となりました。減少の主因は、四半期純損失の計上25百万円、保有有価証券および未使用為替予約の評価益の減少21百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年5月8日公表の予想を修正致しました。なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日(平成27年11月6日)公表の「平成28年3月期第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異及び平成28年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	566,091	452,197
受取手形及び売掛金	2,401,327	2,820,455
商品	1,057,101	1,138,638
その他	102,074	66,395
貸倒引当金	△11,772	△12,633
流動資産合計	4,114,823	4,465,053
固定資産		
有形固定資産	568,616	617,208
無形固定資産	4,173	3,891
投資その他の資産	385,410	377,243
固定資産合計	958,200	998,343
資産合計	5,073,024	5,463,397
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,751,661	2,217,258
短期借入金	1,614,988	1,512,798
未払法人税等	2,493	2,467
賞与引当金	7,100	8,700
その他	202,742	307,760
流動負債合計	3,578,985	4,048,984
固定負債		
長期借入金	184,959	121,235
その他	235,031	266,473
固定負債合計	419,990	387,708
負債合計	3,998,976	4,436,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	703,310	703,310
資本剰余金	138,353	138,353
利益剰余金	△195,955	△221,893
自己株式	△2,581	△2,607
株主資本合計	643,127	617,162
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	115,031	107,893
繰延ヘッジ損益	1,017	△13,225
土地再評価差額金	314,872	314,872
評価・換算差額等合計	430,921	409,541
純資産合計	1,074,048	1,026,704
負債純資産合計	5,073,024	5,463,397

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,804,666	4,561,239
売上原価	4,533,781	4,317,213
売上総利益	270,885	244,026
販売費及び一般管理費	244,694	257,476
営業利益又は営業損失(△)	26,190	△13,450
営業外収益		
受取利息	992	720
受取配当金	3,507	3,549
受取賃貸料	6,000	6,900
ゴルフ会員権退会益	—	3,200
その他	149	17
営業外収益合計	10,648	14,387
営業外費用		
支払利息	24,657	19,409
賃貸収入原価	5,889	5,939
その他	565	1,125
営業外費用合計	31,112	26,474
経常利益又は経常損失(△)	5,726	△25,538
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	5,726	△25,538
法人税、住民税及び事業税	604	400
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	604	400
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,122	△25,938

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	5,726	△25,538
減価償却費	5,621	8,602
無形固定資産償却費	289	282
長期前払費用償却額	274	263
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,010	7,784
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,700	1,600
受取利息及び受取配当金	△4,499	△4,269
支払利息	24,657	19,409
ゴルフ会員権退会損益 (△は益)	-	△3,200
売上債権の増減額 (△は増加)	△163,809	△419,127
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	49,808	△7,803
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△130,283	△81,537
仕入債務の増減額 (△は減少)	47,843	465,597
その他	96,007	67,330
小計	△78,073	29,396
利息及び配当金の受取額	4,420	4,299
利息の支払額	△25,472	△19,348
法人税等の支払額	△123	△688
営業活動によるキャッシュ・フロー	△99,249	13,658
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,878	△2,407
関係会社株式の売却による収入	-	53,763
長期貸付金の回収による収入	75	-
ゴルフ会員権の退会による収入	-	4,000
その他	△6,301	△11,238
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,105	44,117
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	△63,000
長期借入れによる収入	150,000	-
長期借入金の返済による支出	△100,856	△102,914
自己株式の取得による支出	△107	△26
その他	△1,825	△4,548
財務活動によるキャッシュ・フロー	147,210	△170,488
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△1,181
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	39,855	△113,893
現金及び現金同等物の期首残高	411,337	566,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	451,193	452,197

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。